

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年10月14日(木)5校時

指導学級 2年1組 男子17名 女子19名 計36名

指導者 佐野 充 恵

- 1 単元名 話し方をくふうして はっぴょうしよう  
教材名 「あったらいいな、こんなもの」 (光村図書「国語2年 上」)

### 2 単元について

本単元の主たる指導事項は「身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと。」である。「話題に沿って、話し合う」とは、話題に沿って自分の考えを話したり相手の考えを聞いたり、質問したり答えたりして、積極的に話し合いに参加することである。そこで、この単元では、児童が二人組でどんな道具が「あったらいいか」話し合って決めたり道具について発表する内容や順序を話し合って決めたりする活動を設定する。テレビアニメ「ドラえもん」の中に出てくるような「あったらいいな」と思う道具について話し合う活動は、児童の発想を豊かに楽しんで表現することにつながると考える。その活動の中から、話題に沿って話し合うことの大切さや友だちと上手に話し合うことによって思いや考えが深まることを学ぶことができると考える。また、順序を考えて話す力を伸ばし、既習の相手に分かるように話したり大事なことを落とさないで聞いたりする技能や態度の定着も図ることもできると考える。ここで学習したことは、今後、国語科の時間だけでなく他教科の学習や日常生活に広げることができる。

児童は、指人形といっしょに「話すこと・聞くこと」の学習をし意欲的に取り組んでいる。これまでに、「はるを見つけたよ」の学習をとおして、相手に分かるように話すためには、話す内容を選びはっきり話すことの大切さを知り、少しずつ順序を意識して話すようになってきた。「ともさんはどこかな」では、大事なことを落とさずに聞くことの大切さを知り、相手の話をしっかり聞くという意識が育ってきている。しかし、日常の活動の中では、自分の思いや考えを伝えることが主となり、話の途中で口を挟んだり話題からそれてしまったりという場面が多々ある。

指導にあたっては、次のことに留意し、話したり聞いたりする力の基礎・基本の定着を図りたい。

相手、目的、場面・状況を次のように設定し、明確に意識させる。

- ・二人組で話し合う際、相手にも大切な思いがあることを意識させ、二人でひとつの発表を創り上げると意識をしっかりとせたい。
- ・児童が知らせたいと思う相手に話す活動を設定することにより、意欲的に活動に取り組みせたい。教室だけでなく学団集会での発表の場も設け、「だれに」「どんな場面で」話しているのかを明確にし、声の大きさや言葉遣い等について主体的に考えさせたい。
- ・友だちに「その道具はいいなあ。すごいなあ。」と思われるような発表にするという目的意識を確認し、その目的を話し合いの拠り所として話し合いを進めさせたい。  
児童により望ましい言語活動を行わせるために、次のようにモデルを活用したい。
- ・指人形を用いて二人組でどんなものが「あったらいいか」話し合うモデルを提示し、話し合うときに話題に沿って話すことや友だちの思いを受けとめて聞くことの大切さに気付かせたい。
- ・指人形が「あったらいいな」と思う道具を発表するモデルや友だちの発表の様子を適宜提示し、相手に分かりやすい発表の内容や順序、話し方について考えさせたい。  
次のように振り返り活動を工夫し、よりよい話し方・聞き方に気付かせたい。
- ・自分たちの話し方や話し合い方はどうだったか振り返る場を設定し、よりよい話し方に気付かせる。
- ・視聴覚機器を用いて、自分たちの話し方を客観的に振り返る活動を設定する。
- ・二人組で発表練習をし、振り返りカードを使って、自分や友だちの発表を評価する。
- ・教師が適宜アドバイスしたり、よさを認めたりして、児童が満足できる活動を促す。

### 3 単元の目標

〔関心・意欲・態度〕

「あったらいいな」と思う道具について、友だちと楽しんで話し合おうとする。

〔話す・聞く能力〕

「あったらいいな」と思う道具について、聞き手に分かるように話すことができる。  
大事なことを落とさずに聞くことができる。

「あったらいいな」と思う道具や話す内容、順序を二人組で話し合うことができる。

〔言語の能力〕

姿勢、口形などに注意して、はっきりした発音で話すことができる。

丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。

### 4 単元指導構想表（9時間）

段階	時	つきたい力（既新） （話す・聞くの基礎基本）	学 習 活 動	教師の支援
第一 次	1	興味をもって聞く。 聞き手の方を見て話す。	これからの学習の見通しをもつ。 ・指人形の話を読み、「あったらいいな」と思う道具に興味をもつ。 ・道具についていろいろ考える。	・児童がこの教材に興味をもつよう教材との出会いを工夫する。 ・相手、目的を明確にする。
第二 次	2	話題に沿って話し合う。	二人組でどんな道具があったらいいか話し合う。 ・指人形によるモデルを見てよい話し合い方について考える。 ・学習した話し合い方でどんな道具が「あったらいいか」話し合う。	・児童が話し合うときに大切なことに気付くようなモデルを提示する。 ・自分たちの話し合い方を振り返る場を設定する。
	本時 2/2	話題に沿って話し合う。 知らせたいことを選ぶ。	自分たちの道具について話す内容や順序を話し合う。 ・二人組で自分たちの道具について話す内容を考え話し合う。 ・モデルを見て話す順序について話し合う。	・話す内容、順序について考える手がかりとなるようなモデルを提示する。 ・話し合う力を高めるため二人組で話し合う場をより多く設定する。
	2	順序を考えて話す。	・二人組で話す内容を見直したり順序を考えたりする。	・話し合い方を振り返る場を設定する。
第三 次	2	話題に沿って話し合う。 丁寧な言葉で話す。 具体物を示して話す。	「あったらいいな」と思うものの発表練習をし合う。 ・二人組で話す内容を分担し、互いに発表練習をし振り返る。 ・四人組で「あったらいいな」と思うものの発表練習をし合う。	・具体物を示して話す等話し方の工夫に気付くようなモデルを提示する。 ・効果的に話し方を振り返るため振り返りカードや視聴覚機器を利用する。
	2	話題に沿って話し合う。 大事なことを落とさず聞く。 姿勢や口形に気を付けてはっきり話す。	「あったらいいな」と思うものの発表会を開く。 ・八人組で発表会をし、発表のよさや感想を交流する。 ・代表の人が学級のみんなの前で発表をし、発表のよさや感想を交流する。	・本単元で学習したことを次の活動に生かす意欲につながるよう、一人一人の活動のよさを認める場を設定する。
			低学団集会で「あったらいいな」と思うものの発表をする。	・聞き手や話す場を変え、学習したことを広げる。

4 本時の指導

(1) 目標

- ・分かりやすい発表になるよう二人で話す順序について話し合することができる。

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援 ( ・ ) と 評 価 ( )
導 入 3 分	1 前時を想起する。 2 本時の学習課題を把握する。 二人で話すじゅんじょをきめよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに上手に話したいという思いを高めるよう考えた道具や内容を想起する場を設定する。</li> <li>・発表の相手や目的を確認し、それらを意識して本時の活動を行うことができるようにする。</li> </ul>
展 開  39 分	3 指人形が発表するモデルを見て、どんな順序で発表するといいか話し合う。 ・似ていることはまとめて話す。 ・道具の名前を先に言うといいか。  4 どんな順序で話したらいいかまとめる。  5 分かりやすい発表となるよう二人で話す順序について話し合う。 ・前時に用意した話す内容を記したカードを動かしたり、付け足したりしてより分かりやすい発表になるよう話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指人形を使いどんな順序で話せばいいのかを考える手がかりとなるようなモデルを提示する。</li> <li>・より具体的に話す順序を意識できるよう、モデルの話をも自分でも話してみる活動を取り入れる。</li> <li>・2の話し合いの内容をまとめ、次の活動に生かせるよう板書等で支援する。</li> <li>・話し合いで注意することを確認し習熟を図る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよく話し合う。</li> <li>・話題に沿って話し合う。</li> <li>・分からないことは聞き返す。等</li> </ul> </li> <li>・二人組で話し合う際の手順を明確に示す。                分かりやすい発表になるよう二人で話す順序について話し合ってきたか。               <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 A 発表の順序について、自分の考えを分かりやすく説明したり友だちの考えのよさに気付いたりしながらなかよく話し合っている。                  B 発表の順序について自分の考えを話したり相手の話を聞いたりして話し合っている。                  C (支援) 何を先に話すといいか、似た内容はないか等カードを共に見て支援する。                  (観察・振り返りカード)               </div> </li> <li>・サポートの先生の協力を得て観察・評価する。</li> </ul>
終 末 3 分	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手に話し合うことがいろいろな場面で役に立つことに気付かせ、生かそうとする意欲につなげる。</li> <li>・学習の見通しをもてるよう、次時は実際に発表練習をすることを伝える。</li> </ul>

(2) 板書計画

あつたらいいな、こんなもの

二人で話すじゅんじょをきめよう。

だれに  
友だちに

何を  
あつたら いいなあ と思うもの

話すじゅんじょ →

- ・名前を先に言う。
- ・にていることはまとめて言う。
- ・どうぐのじまんを先に言う
- ・か後に言うか考える
- ・あいてに分かりやすいじゅんじょにする。

話し合いつなぎ

- ・なかよく話し合う。
- ・話題に沿って話し合う。
- ・分からないことは聞き返す。等